

赤十字 NEWS

http://www.jrc.or.jp

JULY 2017
NO.926

7

平成29年7月1日(毎月1日発行)
赤十字新聞 第926号
昭和24年9月30日 第三種郵便物認可

あなたが
つなぐ、
命がある。

小林麻耶さんが献血を語る。



CONTENTS

FEATURE__2

【愛の血液助け合い運動月間】
ちゃんと届くには
ワケがある。

輸血用血液製剤の安定供給を支えるシステム

SPECIAL TOPICS__4

平成28年度日本赤十字社
決算概要報告

全国赤十字大会

LOVE in Action Meeting (LIVE)

Column

【とっさのとき、どうする?】
熱中症

AREA NEWS__6

全国/茨城/埼玉/東京
長野/愛知/島根/山口

Column

【健康豆知識】
おたふく風邪

WORLD NEWS__8

イラク紛争犠牲者医療救援事業
帰国した4人の医師が感じた平和への想い



赤十字新聞 編集・発行/日本赤十字社 広報室
〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3
TEL: 03-3438-1311
一部20円
赤十字新聞の購読料は会費に含まれています。

小林麻耶さんは6月6日に行われたLOVE in Action Meeting(LIVE)の時のことです。

小林麻耶さんの「冥福を心よりお祈り申し上げます。

「今生きているのは当たり前ではない」ということ、
命の大切さと尊さを、
本当の意味で感じられるようになりました。
自分の命を大切にすることが
周りの人を幸せにするんだ、
と気付くこともできました。
命の大切さ、献血の素晴らしさを、
今、深く深く感じています。

妹ががんになり、
私自身も体調を崩して仕事を休んで、

本当にありがとうございました。

心から感謝しています。

献血してくださった皆さんに

受血者の家族の一人として、

どうなっていたか分かりません。

あの輸血がなかったら、

妹は命をつなぐことができませんでした。

献血してくださる方がいらっしやっただけで、

今年4月に輸血を受けました。

がんを患って闘病中の妹・麻央は、

人間を救うのは、人間だ。

 **日本赤十字社**
Japanese Red Cross Society

血液は生きた細胞 365日・24時間

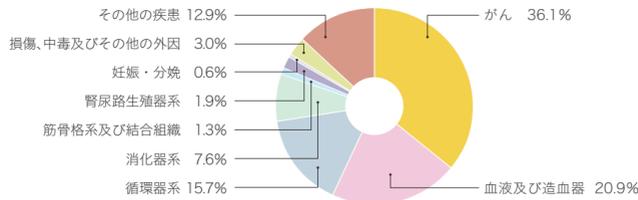


ちゃんと届くにはワケがある。

—輸血用血液製剤の安定供給を支えるシステム—

輸血が必要となる手術や病気の治療などは、各医療機関で日々計画的に行われています。皆さまに献血いただいた血液は、そのほとんどが血液製剤(輸血用血液製剤や血しょう分画製剤)となって、それぞれ必要な患者さんの元へ届けられます。ただし、血液は生きた細胞。人工的に造ることはできず、長期の保存もできません。採血の現場から患者さんにお届けするまでには、スピーディーに検査や製造、供給を行う必要があります。365日24時間、必要とされる輸血用血液製剤が必要な時に、確実にお届けすることは、わたしたちの使命です。そしてそれは皆さまの善意の献血と、広域的な需給管理体制によって支えられています。

疾病別輸血状況 (2015年 東京都)



輸血用血液製剤の多くはがん(悪性新生物)の患者さんの治療に使われています。

東京都福祉保健局・平成27年東京都輸血状況調査集計結果(概要)より

Reason 1 毎月更新される採血計画と需要に応じた南犬血のお原頁



いつ、どこで、どのくらいの量の献血をしていただけるか? 需要予測に基づき2カ月先まで立てられた採血計画は、変動する輸血用血液製剤の在庫量や各医療機関からの需要に対応して毎月更新されます。また、メールやハガキによる依頼のほか、各献血会場での呼び掛けなどさまざまな方法により、在庫状況に応じた献血の協力をお願いすることで、必要な血液を確保しています。



献血バス

Reason 2 全国の血液センターをつなぐネットワーク



各都道府県にある「血液センター」。ここに、輸血用血液製剤が保管され、医療機関へ届けられます。血液センターは、全国7カ所で需給管理を担当する「ブロック血液センター」を軸にネットワークが繋がっており、どこかの施設にどの製剤が何本あるのか、いつでも分かるようになっています。



テレビ会議の様子

パソコンと電話で全国各地の需給を管理

1日に必要な輸血用血液製剤は約5万本!

平成28年度のデータによると、1日に必要とされる輸血用血液製剤の数は約5万本(200ml単位換算)! 季節や曜日によって変動しますが、この数の製剤を製造するためには**1日で約1万3000人分の献血協力が必要という計算になります。**

輸血用血液製剤は日々安定的に供給されていますが、そこにはいくつかの理由があります。その1つが、1カ月ごとに更新される採血計画です。

採血計画は、あらかじめ作成された1年間の事業計画に則って作成されます。常に2カ月先まで作成され、医療機関から届けられる情報などを元に毎月更新して微調整しています。**この採血計画に基づき、国民の皆さまに献血へのご協力をお願いし、必要とされる量の血液を確保することで、輸血用血液製剤を過不足なく製造することが可能となっています。**

その他にも、将来を見据えて、医療技術の発展や人口動態などを踏まえ、5年、10年先の輸血用血液製剤の需要予測も行っています。

また、献血種類によっては、リアルタイムな協力状況に応じた呼び掛けを行う場合もあります。「今、O型の血液を必要としています」というお願いは、今まさにその地域でO型の輸血用血液製剤が必要とされており、「補充が必要」と判断され行われていることもあるのです。

ブロック血液センターは需給調整の要

安定供給を支える2つ目の理由が、全国の血液センターをつなぐシステムです。

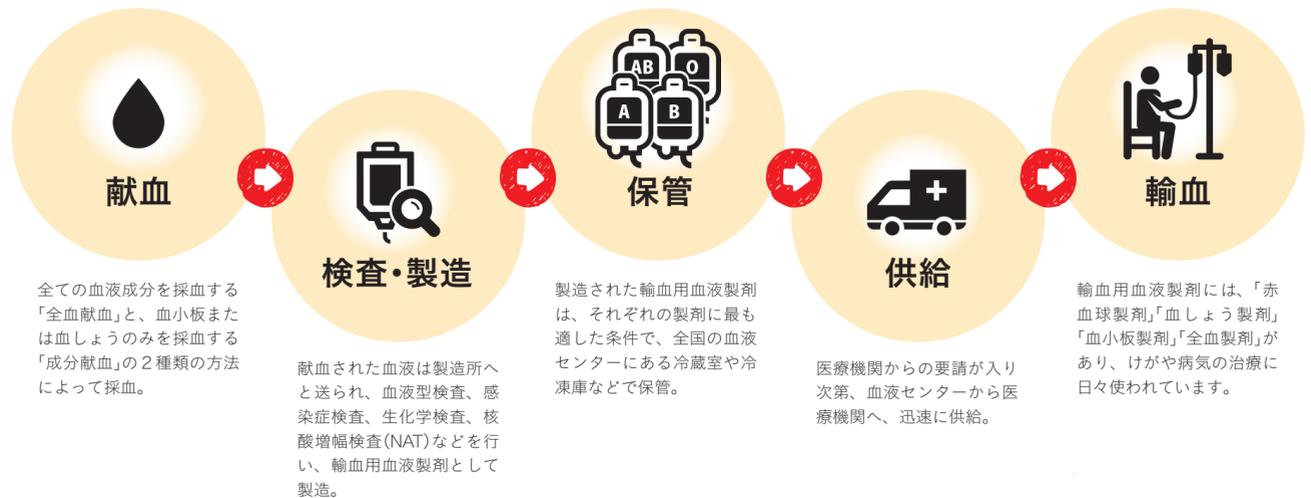
皆さまからの献血によって製造された製剤は、全国47カ所の血液センターを含め、102カ所の供給施設(2017年4月現在)に分散して保管され、

いつでも医療機関へお届けできる体制を整えています。**各都道府県の血液センターはオンライン上でつながっており、今、どの製剤がどの施設にどれだけあるのかをシステムで確認することが可能。迅速な対応を図っています。**また、各センターの製剤の在庫状況や今後の需要の見込みに関して、定期的にテレビ会議を行い、情報を共有しています。

もし、東京の血液センターでA型の在庫が減少してしまったら……。そんなときは東京都江東区にある関東甲信越ブロック血液センターへ連絡。関東甲信越ブロック血液センターの需給管理課は、全国の血液センターにある在庫を確認して「北海道に対応可能」と判断することも。その場合は北海道ブロック血液センターへ連絡し、東京への輸送を依頼します。こうして、A型の輸血用血液製剤が約1000キロの空路・陸路を経て、早ければ当日中に

7月は愛の血液助け合い運動月間

輸血用血液製剤が患者さんに届くまで



Reason 3 365日、全国各地の医療機関にお届け!



輸血用血液製剤は全国各地で365日、病気やけがの治療に使われています。そのため、これらの製造施設でもあるブロック血液センターとブロック内の血液センターをつなぐ定期便を毎日複数便運行。どこかの血液センターで製剤が一時的に減少した場合は、他のセンターから搬送して在庫を補充することで、安定供給を可能にしています。



全国各地へ運ばれる輸血用血液製剤

患者さんの元へ届けられることもあるのです。関東甲信越ブロック血液センターの需給管理課・東紀利係長は日々の勤務について、「需給管理課では毎日、全国各地から電話が鳴りっぱなしです。大変なこともあります。それだけ日々、製剤が必要とされているということ。皆さまの献血によって安定供給が支えられているのだと、日々実感しています」と話します。

輸血用血液製剤を1年365日、24時間お届け!

安定供給を支える3つ目の理由。**それは輸血用血液製剤の製造施設であるブロック血液センターと医療機関への供給施設である血液センターをつなぐ定期便です。**定期便は製剤の補充のため、毎日、複数便運行されており、長距離移動の場合は飛行機、電車が利用されることもあります。基

本的には自動車によって運ばれることから、道路状況などによっては到着時間が読めない場合も。同じことは、各血液センターから医療機関へ血液をお届けする場合にもいえます。とはいえ、いつ緊急に必要となるか分からないのが血液製剤です。そのため、雪や雨といった天候不良、花火大会といったイベント開催により**交通渋滞が予測できる場合は、運搬ルートを変更するなど、臨機応変に対応することで、365日、24時間いつでも医療機関へお届けできる体制を整えています。**

安定供給のために

全国の血液センターに保管されている製剤。この在庫量について、日本赤十字社血液事業本部・供給管理課の中津留敏也課長は「赤血球製剤の場

Let's 社会見学! 血液事業の現場に潜入



献血された血液が、どんな工程を経て、医療機関に届けられるのか。自分自身の目で確かめてみませんか。日赤では、広く皆さまに血液事業を知っていただくため、主に検査・製造施設でもある全国7カ所のブロック血液センターを中心として、見学ツアーの受け入れを行っています。

実際に作業している検査室や製造室を見ながら、血液のこと、献血や輸血のことを学べる機会です。ぜひお近くのブロック血液センターにお問い合わせください!

※ツアーの有無や内容、見学条件は施設によって異なるためご注意ください。また、事前のお申し込みが必要となります。



合は、平日供給量の3日分を安定在庫と考えています」と話します。

「現在、1年間で約480万人、約190万リットルの献血をいただいています。ご家族の輸血体験をきっかけに、毎月のように協力をいただいている方もいらっしゃる、本当にありがたいことです。**しかし輸血用血液製剤は、長期的に保存することはできません。赤血球製剤の有効期間は採血後21日間、血小板製剤は4日間です。災害時だけでなく、何げない毎日こそ、皆さまからの献血が必要です。**

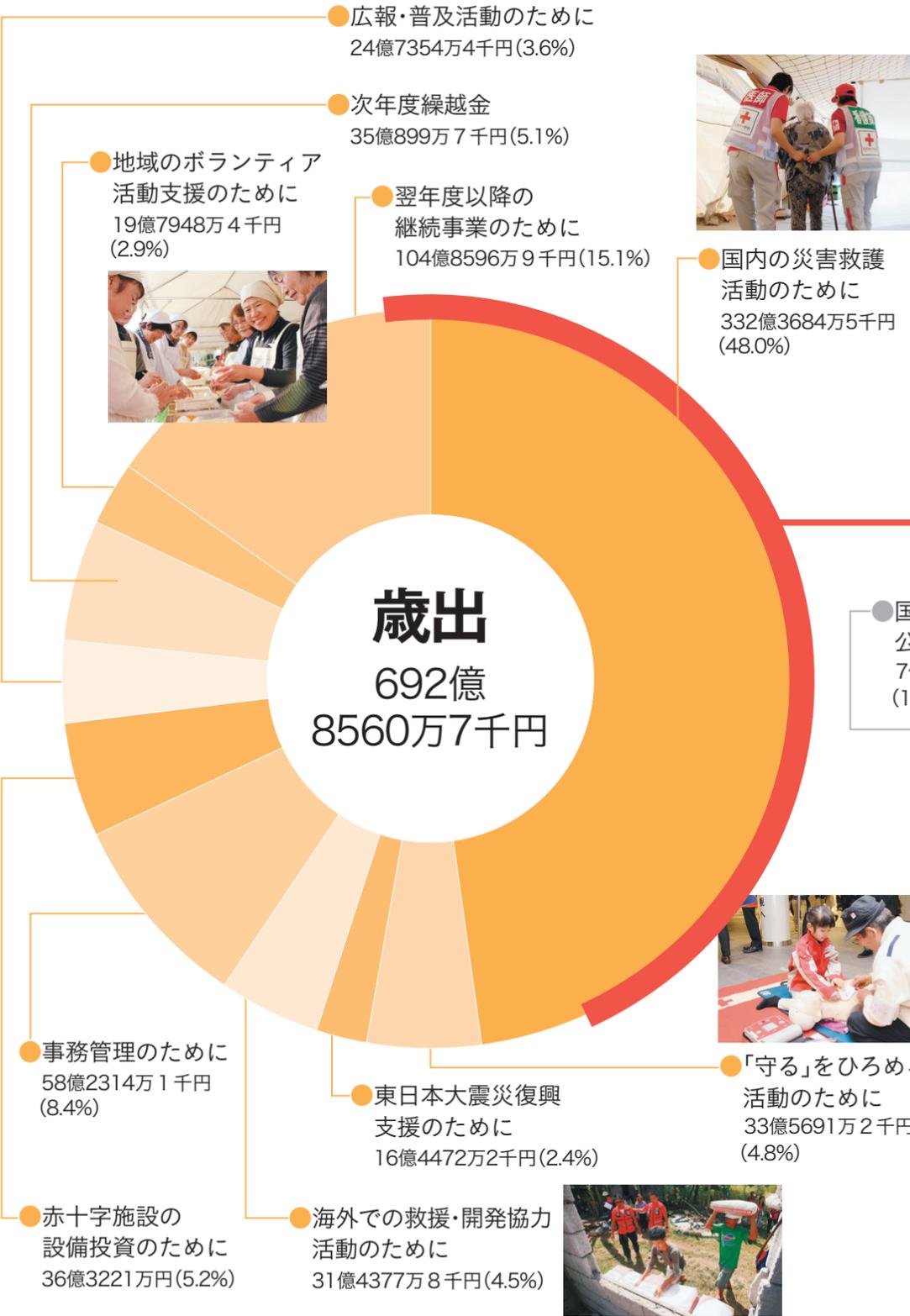
血液製剤は常に患者さんに必要とされており、緊急時はもちろん、平時だからこそ不足が起らないよう、細心の注意を払い、将来に備えていかねばなりません。

7月は「愛の血液助け合い運動」月間。あなたもこの機会に献血の在り方を考えてみませんか。

TOPICS

平成28年度 日本赤十字社の決算概要を報告します。

平成28年度、日本赤十字社は一般会計と3つの特別会計(医療施設、血液事業、社会福祉施設)を合わせて総額1兆2000億円を超える規模の事業を展開しました。このうち、個人・法人の皆さまからいただいた会費(社費)や寄付金を主な財源として実施した活動にかかる一般会計の歳入・歳出の概要は以下のとおりです。



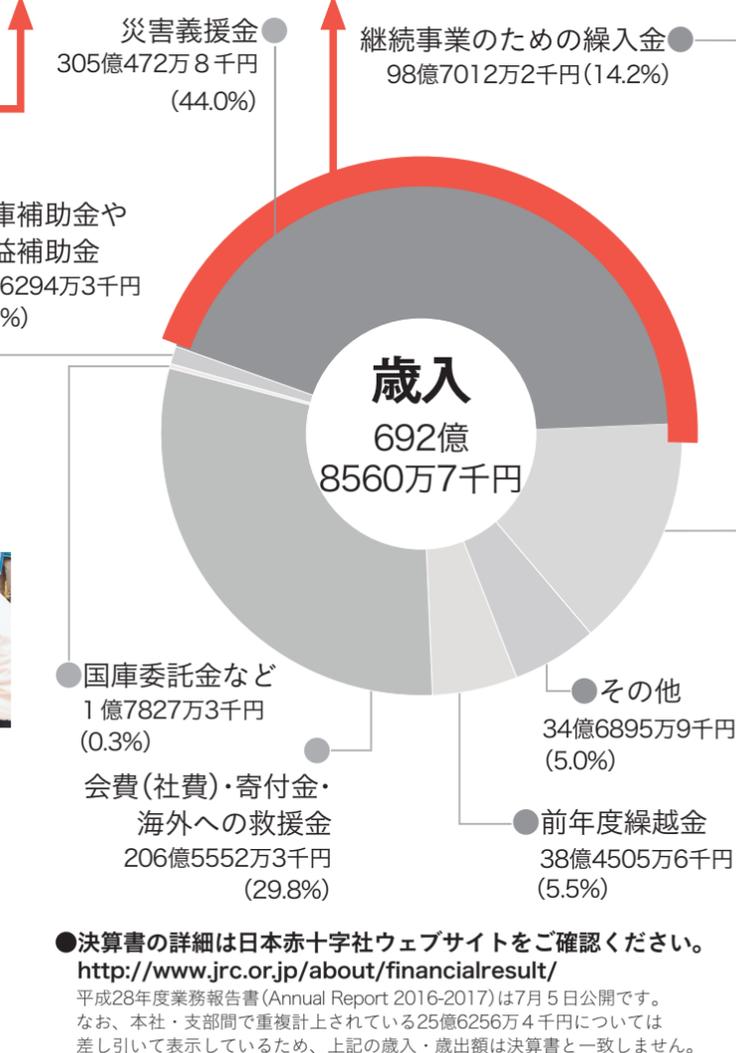
災害義援金

313億7603万円

義援金はその全額を被災された方々に届けます。

【内訳(抜粋)】

- 熊本地震災害義援金 280億9301万8千円
- 東日本大震災義援金(平成28年度のみ) 26億1686万9千円



医療施設特別会計

診療報酬を主な財源とする赤十字病院などの運営に伴う収入、支出です。

収入 1兆202億9277万2千円

支出 1兆391億2088万9千円

差引額
- 188億2811万6千円

血液事業特別会計

医療機関への血液製剤の供給による収入を主な財源とする赤十字血液センターの運営に伴う収入、支出です。

収入 1611億3791万5千円

支出 1585億9295万円

差引額
25億4496万5千円

社会福祉施設特別会計

措置費収入、介護保険事業収入などを主な財源とする各種社会福祉施設の運営に伴う歳入・歳出です。

歳入 181億2016万円

歳出 136億4112万円

差引額*
44億7903万円9千円

注1) 差引額は千円未満を切り捨てているため、差は一致しません。注2) 収入とは「収益的収入」、支出とは「収益的支出」、差引額とは「収益的収入支出差引額」のことで(※の差引額を除く)。

TOPICS

全国赤十字大会

2017年5月25日 於:明治神宮会館

日本赤十字社創立140周年の記念となった今回の全国大会。事業に功績のあった個人や団体に贈られる有功章が日赤名誉総裁の皇后陛下から授与されました。創立140周年を記念した特別表彰も行われた式典終了後には、谷村新司さんのコンサートも開かれ、充実した大会となりました。

平成29年全国赤十字大会が5月25日、日本赤十字社名誉総裁の皇后陛下、名誉副総裁の秋篠宮妃殿下、寛仁親王妃殿下、高円宮妃殿下のご臨席の下、明治神宮会館(東京都渋谷区)で開かれました。

昨年は4月に発生した熊本地震災害の対応により、大会が中止に。よって2年ぶりの開催となります。日本赤十字社創立140周年の記念大会である今年は、全国から会員やボランティアら約2000人が出席。事業に功績のあった個人や団体に贈られる有功章が、皇后陛下からジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社など受章者代表の7個人6社に授与されました。また、創立140周年を記念した特別表彰も行われました。

式典では、近衛忠輝社長が「われわれの日々の努力の積み重ねこそが、国際赤十字が創設以来スローガンに掲げてきた『人道を通じて平和を』を達成する道だと固く信じている」とあい

さつ。熊本地震発生直後から最前線で被災者の治療などに当たった宮田昭医師(熊本赤十字病院 副院長)、赤十字国際委員会のイラク紛争犠牲者医療救援事業に派遣された渡瀬淳一郎医師(大阪赤十字病院 国際医療救援部 副部長)が活動報告を行い、困難に直面する人々への継続的な支援の必要性を訴えました。

式典終了後には谷村新司さんのコンサートが行われ、数々の名曲に包まれた会場に、出席者も大満足の様子でした。



宮田昭医師

渡瀬淳一郎医師



皇后陛下より有功章が授与されました

谷村新司さんから

赤十字同様、思いをつなぐ活動を続けたい



2006年の中国 SARS 被害への支援をきっかけに赤十字の活動に協力しています。世界各国でコンサートを行って感じるの、歌や文化には、政治や経済で起きる利害の対立を超え、心をつなぐ力があるということ。赤十字が持つ力も、同じですね。これからも、歌を通じて人と人の思いをつなぐ活動を続けていきたいと思っています。

LOVE in Action Meeting (LIVE)

2017年6月6日 於:東京国際フォーラム

「献血の大切さを伝える素晴らしいイベント」と小林麻耶さん

6月14日の世界献血者デーを前に、日本赤十字社は6月6日、献血推進イベント「LOVE in Action Meeting(LIVE)」を東京国際フォーラム(東京都千代田区)で開催しました。人気バンド KANA-BOON など4組のアーティストや、日本高校ダンス部選手権

新人戦で LOVE in Action 特別賞に輝いた3校が熱いパフォーマンスを披露。長崎から駆けつけた医学生の熊谷さんは、がんの闘病体験を語り、献血への感謝と献血の必要性を呼び掛けました。また、2015年まで司会を務めた小林麻耶さんがゲスト出演(表紙参照)。



新曲を披露した KANA-BOON (カナブーン)



スタンプラリーを楽しみながら日赤の活動を学んだ参加者たち

会場では、スタンプラリーも行われ、たくさんの方が参加して、日赤の活動に対する理解を深めていました。

「とっさのとき、どうする?」は切り取って保存していただけます

file.3

とっさのとき、どうする?

急病編① 熱中症

運動中に体が熱くなり、なんだか頭がぼーっとしてきた。もしかしたらその症状は、「熱中症」かもしれません。

熱中症は、室外・室内の暑い環境で過ごすことによって、体温の上昇や脱水が起きた状態を指します。めまいや立ちくらみ、足がつる「筋肉のこむらがえり」といった初期症状が出たら要注意です。ガマンしてしまうと、頭痛や吐き気、さらには意識障害、けいれんなど、危険な症状につながってしまいます。

熱中症になったら、まず体の熱を放散させます。クーラーの効いた部屋や木陰で横になり、

全身をうちわなどであおぎましょう。首筋などの大きな血管が通る部分だけでなく、体全身を冷やすようにします。スポーツ飲料や経口補水液で、水と塩分を補給しましょう。

熱中症は、日々の心掛けで防ぐことが可能です。直射日光を避ける、喉のかわきを感じる前に水分をとる、汗をかく環境では塩分補給も行うなどを暑い季節の習慣にしましょう。また、寝不足や疲労によって熱中症になりやすくなるため、日頃から休養をしっかりとることも大切です。高齢者は症状に気が付きにくいので、特に気を配りましょう。

頭がぼーっとして、体が熱くなってきた……それは熱中症のサインかも!



可能であれば、全身に水をかけてからあおくと、熱の放散を促すことができます

※詳細は赤十字救急法講習を受講ください。受講のお問い合わせは、日赤の各都道府県支部へ。

AREA NEWS



AREA NEWS

日々の生活や未来を支援するために。
全国各地、あなたの生活のすぐそばで、
日本赤十字社の活動は行われています。

愛知県

外国人住民に 命を救う知識や技術を伝えたい

愛知県支部では、6月4日、豊橋市で地域の外国人住民を対象に、救急法短期講習を実施しました。昨年12月に資格を取った3人の外国人救急法指導員が、全国で初めてそれぞれの母国語であるインドネシア語、ポルトガル語で行った講習を10人の外国人住民が受講。

心肺蘇生やケガの手当ての方法を伝える内容では、「119番通報お願いします」といった日本語で周囲の人に助けを求める必要性も説明しました。



母国語による講習は「疑問をすぐに質問できてよかった」と好評です

東京都

ネパール地震の支援に対して 献血で恩返し

5月21日、新宿東口献血ルームに朝から続々とネパール人が訪れ、59人が献血しました。

「2015年のネパール地震で日本から受けた支援への恩返しをしよう」と呼び掛けたサリタ・グルンさんはネパール地震の被災地で日赤の救援活動に心を打たれた一人。ネパールジャパンユースクラブの仲間に相談し今回の献血が実現。「日本の人たちの支援を忘れない。これからも恩返しをしていきたい」と語りました。



この日は通訳ボランティアを含め91人のネパール関係者が来所。「同じ思いのネパール人はたくさんいます」とサリタさん(写真左)

山口県

「いのちを守る防災教育を推進する会」 が表彰されました

このたび、山口県支部の「いのちを守る防災教育を推進する会」(通称:命守会)の取り組みが、気象庁長官表彰を受賞しました。命守会は、2015年に山口県支部と下関地方気象台、気象予報士会西部支部と防災教育推進のために結成されたものです。

小中学校などでの「大雨防災ワークショップ」や、ワークショップが効果的に進められるための教職員対象の研究会が評価され、受賞となりました。



ワークショップ「経験したことのない大雨・その時どうする?」の様子

島根県

出雲大社で「命の縁結び」! GWの観光地で献血の呼び掛け

毎年お正月、ゴールデンウィーク、お盆休みの期間など、献血者が少なくなる時期に献血に助力いただいている出雲大社。今年は5月3日、5日に参道脇で呼び掛けをし、2日間で観光客や出雲大社職員など103人の協力を得ました。

「出雲大社にご参拝になられる方々が、今後ますます命を救う献血のご縁に結ばれますように」と出雲大社職員の方は笑顔で語りました。



「献血で、命の縁結びをお願いします!」と呼び掛け

長野県

地元企業と開発した 「点滴クリップ」がグランプリ獲得!

諏訪赤十字病院は「認知症やせん妄*の患者さんが点滴チューブを引き抜いてしまう」問題に
応え、地元企業と協力し、点滴クリップを開発。国際モダンホスピタルショー2017のアイデアコンテストでグランプリを獲得しました。

点滴クリップは、輸液バックと点滴チューブをつなぐ部分をしっかりと固定できる一方で、強い力が加わるとクリップが外れ点滴スタンドの転倒も予防できます。



「チューブ引き抜き」を解決した点滴クリップ
*せん妄とは:認知症と異なり幻覚、錯覚などが起こる意識障害で完治が可能

「知ってて良かった!健康豆知識」は切り取って保存していただけます

日赤のドクター&ナースが教える
知ってて良かった!

健康豆知識

昨年、久々に流行した「おたふく風邪」。正式には流行性耳下腺炎といい、37~40°Cの発熱と、片方もしくは両方の耳の下から顎のラインにかけて、ぶっくりとコブのような腫れを伴うのが特徴です。

2~5歳までの幼児期にもっとも多く、そのため「子ども特有の病気」と思われがちですが、実は、子どもよりも大人の方が、高熱が出やすく重篤化する傾向があります。

おたふく風邪は「ムンプスウイルス」というウイルスが、唾液腺(耳下腺)で炎症を起こして発症します。しかし、ムンプスウイルスは唾液腺

大人こそ「おたふく風邪」に注意!

秦野赤十字病院 小児科 兵頭裕美
神奈川県秦野市立野台1-1 TEL 0463-81-3721

以外にも生殖器や脳で炎症を起こすことがあり、思春期以降の男性の5人に1人が精巣炎に、女性の14人に1人が卵巣炎に、約1割が発熱や吐き気、けいれんなどを伴う髄膜炎にかかることが分かっています。合併症を招く恐れのあるムンプスウイルスそのものへの注意が必要です。

感染力のピークは、腫れなどの症状が出る2日前からの1週間。かかってからの特効薬はないので、まずは感染者の分泌物やくしゃみなどに含まれるウイルスを避け、過去確実におたふく風邪にかかった方*を除き、予防接種をおすすめします。



file. 37



*幼児期におたふく風邪や予防接種の経験があっても抗体がつかない人がいます。抗体の有無は病院で調べられます。

埼玉県

観客を魅了した
心癒やすカルテット

5月30日、さいたま赤十字病院にて日本フィルハーモニー交響楽団による弦楽四重奏「ソニック訪問コンサート2017 in さいたま赤十字病院」が開催されました。公益財団法人埼玉県産業文化センターとの共同主催で、観客は、患者さんを含め約180人が集まりました。クラシックや映画音楽などの生演奏に、観客は表情が明るくなり「生演奏で名曲が聴けて心が癒やされました」と声を弾ませました。



演奏に引き込まれ、一心に聴き入っていました

茨城県

「きぬのまゆ玉」
チャリティプログラムに参加

チョコレート菓子「きぬのまゆ玉」の売り上げの一部が、茨城県支部の赤十字活動の支援となる取り組みがスタートしました。茨城県内では初のチャリティプログラムとなります。「きぬのまゆ玉」は、茨城県産の卵を使った黄味餡をホワイトチョコで包んだお菓子。湖月庵代表取締役社長の上野貴則さんは、「茨城県産の食材を使った商品で社会貢献ができる仕組み。他社にも広がるきっかけとなれば」と語っています。



第27回全国菓子大博覧会にて農林水産大臣賞を受賞した「きぬのまゆ玉」

常任理事会開催報告

平成29年6月22日、本社において平成29年度第3回の常任理事会が開催されました。

1 理事会及び第90回代議員会に付議する事項について(役員を選出、平成28年度事業報告及び収支決算の承認)

審議の結果、理事会及び第90回代議員会に付議する事項については、原案のとおり本年6月23日開催の理事会及び第90回代議員会に付議することが了承されました。

また、予算の補正にかかる5月分の社長専決事項等の決定状況について、報告しました。

理事会開催報告

平成29年6月23日、全国社会福祉協議会会議室(新霞が関ビル)において平成29年度1回目の理事会が開催されました。審議結果は下記のとおりです。

記

1 第90回代議員会に付議する事項について(役員を選出、平成28年度事業報告及び収支決算の承認)

審議の結果、いずれも原案のとおり議決されました。また、全国支部・施設での広報活動について、報告しました。

全国

幸せの願いをすずらんに込めて——今年も全国の赤十字施設へ

今年も、ANAグループから全国47カ所の赤十字病院と関連施設に、すずらんの花としおりが贈られました。昭和31年に始まったこの取り組みは今年で62回目。毎年、ANAグループが北海道で栽培されたすずらんの鉢植え、切り花、すずらんの香り付きの特製しおりを全国に届けています。すずらんの花言葉は「幸せの再来」。約1万9000枚のしおり1枚1枚に、ANAグループ社員の皆さんが、幸せを願うメッセージを手書きで添えています。

東京の大森赤十字病院には、ハートラちゃんと共にANAの客室乗務員が訪問。患者さんは「本物のすずらんは初めて。こんなにやさしい香りがするんですね」と感激。しおりの香りを嗅いで「他の方にも、幸せを分けられたら」と笑顔になる患者さんも。患者さんだけでなく病院を訪れた全ての方にしおりが配られ、たくさんの笑顔が生まれました。



しおりに添えられた手書きメッセージとやさしいすずらんの香りを喜ぶ入院患者の女の子



幸せの願いをすずらんに込めて今年も全国の赤十字施設へ

第90回代議員会開催報告

平成29年6月23日、新霞が関ビル「全社協・灘尾ホール」において開催した第90回代議員会の審議結果は下記のとおりです。

平成29年7月1日

記

第1号議案 役員を選出について 理事1名及び監事1名が次のとおり選出されました。

理事 西宮 映二
監事 庄山 悦彦

第2号議案 平成28年度事業報告及び収支決算の承認について

原案のとおり議決されました。

お詫びと訂正 赤十字NEWS第924号の13面「健康豆知識」の原武麻里看護師の肩書に誤りがありました。「がん患者専門看護師」と記載しましたが、正しくは「がん看護専門看護師」です。訂正し、お詫び申し上げます。

活動資金ご協力のお願い

災害時に寄せられた義援金は、全額が被災者に届けられます。一方、日本赤十字社が行う被災地での救護活動や、被災者に配布される救護物資の調達には義援金は使われず、すべて皆さまからの会費やご寄付である活動資金で賄われています。

昨年度、熊本地震災害での救護活動や物資の配布も、皆さまからの会費やご寄付によって実現しました。救護物資については今後の大規模災害に備え、新たな補充を必要としております。

引き続きのご支援、ならびにご支援の輪を広げる活動へのご協力を、何とぞよろしくお願い申し上げます。

【ご協力方法】

- ① お住まいのお近くの赤十字窓口から(全国47都道府県に支部を設置しています)
- ② 口座振替による継続的な支援
- ③ クレジットカードによる継続的な支援

詳しくは、本社パートナーシップ推進部(03-3437-7081)へお問い合わせください。または、日赤ウェブサイトをご覧ください。



法人の皆さまからも多くの支援をいただいております。公益財団法人JKA(競輪)からの補助で、毛布(2万枚)、タオルケット(4000枚)、安眠セット(6480セット)の救護物資を整備しました。

日赤 活動支援 検索

<http://www.jrc.or.jp>

present プレゼント

マフラータオル(A・Bいずれか)、クリップペンのセットを6名さまにプレゼントします

以下の項目を明記のうえ、(タオル:綿100%、サイズ約105cm×約19cm) 郵送・FAX・メールで
ご応募ください。



- ①お名前(匿名をご希望の方は、その旨もご記入ください)
- ②郵便番号・ご住所 ③電話番号 ④年齢
- ⑤赤十字NEWS 7月号を手にした場所(例/献血ルーム)
- ⑥7月号で良かった記事、興味深かった記事はどれですか?(いくつでも)
- A. 表紙 B. ちゃんと届くにはワケがある
- C. 平成28年度日本赤十字社決算概要報告
- D. 全国赤十字大会 E. LOVE in Action Meeting(LIVE)
- F. とっさのとき、どうする? G. エリアニュース
- H. 健康豆知識 I. プレゼント
- J. ワールドニュース K. 人道支援の現場から
- ⑦赤十字NEWSのご感想、扱ってほしいテーマ、その他Voice(読者の声)への投稿もお待ちしております。

郵送/〒105-8521

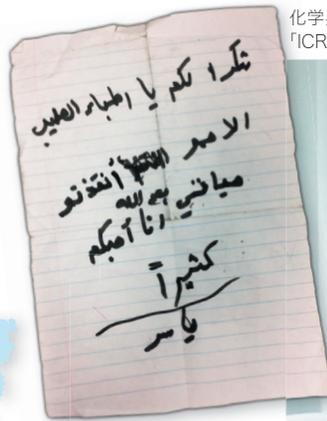
東京都港区芝大門1-1-3 日本赤十字社
広報室 赤十字NEWS 7月号プレゼント係
FAX / 03-6679-0785 メール / koho@jrc.or.jp
(件名「赤十字NEWS 7月号プレゼント係」)
7月31日(月)必着

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます

WORLD NEWS

WORLD NEWS

イラク紛争犠牲者医療救援事業



化学兵器と思われる爆弾の被害に遭った子どもから、渡瀬医師へ贈られた手紙
「ICRCの担当の先生へ ボクを助けてくれてありがとう。あなたを愛しています。ヤシル」



渡瀬医師と、同氏が治療を担当した家族(手前右がヤシル君)

戦争の爪痕と、医療救援 帰国した4人の医師が感じた平和への想い

赤十字国際委員会(ICRC)の要請を受け、イラクでの紛争犠牲者の医療救援に従事した4人の医師が帰国しました。約3カ月半に及ぶ現地での活動とその想いを報告します。

イラク第2の都市モスル近郊で 赤十字が活躍中

長らくイラク国内の戦闘は今なお収まる気配を見せず、昨年10月、イラク軍がイスラム武装勢力の支配下にある同国第2の都市モスルの奪還作戦を開始したことによって、大量の国内避難民が発生するとともに、戦闘による負傷者が急増しています。

そのモスル近郊で今、ICRCとイラク赤新月社は「紛争の犠牲となっている人々に寄り添い、人間の尊厳と生活を守る」という理念のもと、2500人以上の現地赤十字職員やボランティアが協力し、モスル近郊の避難民キャンプなどで温かい食事の提供や救援物資の配布、医療活動などを実施しています。



ICRCは、これまでに食料を23万人へ、救援物資を13万5000人に配布

異文化と多様性の中で

そうした中、ICRCの要請を受け、イラクでの紛争犠牲者の医療救援に従事した杉本卓哉医師(熊本赤十字病院)、渡瀬淳一郎医師(大阪赤十字病院)、井上芳門医師(名古屋第二赤十字病院)、高尾亮医師(熊本赤十字病院)の4人がこのほど帰国しました。

4医師が派遣されたのはイラク北部エルビルの西エルビル救急病院(通称:ロジャワ病院)で、ここには日本を含め9カ国の赤十字社から医師や看護師が派遣され、約3カ月半で大小合わせて約400件の手術が行われました。言葉や文化、手法の異なる中での医療救援について井上医師は、「各国の医師とコミュニケーションする上で大事なことは自分に興味を持ってもらい、相手にも興味を持つことです。私は料理が好きなので、おすしを作ったらとても喜ばれて、それをきっかけにして仲良くなりました」



手術後の様子を診る井上医師

イラクの人々に 一日も早く平和な日常を

化学兵器の被害に遭ったとみられる子ども5人を含む7人家族の治療を担当した渡瀬医師は、「彼らは紛争に参加していたわけではありません。平和に暮らしていた一般市民です。彼らが苦しんでいるのを見ると、どんな理由であれ戦争をしてはいけないと痛切に感じました。同じ地球に生きている人間として彼らの身に起きていることに無関心ではられません。しっかりと治療していくというのが私たちのポリシーです」

一方、高尾医師は「今回初めて海外医療救援に参加しました。自分が少しでも患者さんの役に立てればいいと、そんな気持ちで頑張りました」

4医師にとって現地での何よりの喜びは、紛争被害者の傷が癒え、笑顔を取り戻すことでした。帰国後、4医師はそれぞれの病院勤務に戻りましたが、イラクの人々への想いは変わらず、一日も早く平和な日常が戻ってくることを願っています。



麻酔をかける高尾医師。自身初の海外医療救援活動の様子

VOL.11 人道支援の現場から

けがの治療だけでなく、安らぎの場に

2017年2月19日。「イラク北部の都市モスル西部の作戦が始まった」とニュースが流れました。ちょうど私がモスルから約80km離れたエルビルに向けて出国した日。ICRCと9カ国の赤十字社による共同事業で、私は外科医として派遣され、エルビル市内の病院で3カ月半働くことになりました。

モスルから受け入れた多数の患者には、子どもたちも多く含まれていました。その中に頭部に重傷を負い、手術を受けた女の子がいました。回診で会っても表情を変えず、話すこともなく、

不審げに私たちを見つめる女の子。そんな子も、同時期に受傷した周りの子どもたちが元気になっていくと、自然と笑顔を見せるまでに。やがて私たちスタッフをからかったり、手伝いをしてくれたり、病棟で一番の活発な子になってくれました。

子どもたちは病棟全体を明るくしてくれます。外科診療チームといっても、その役割はけがを治すだけではありません。私たちは、入院中というひとときだけでも患者に安らぎを感じてもらいたいし、安らいでくれるその姿に逆に癒やされることもあるのです。



杉本 卓哉

Takuya Sugimoto

イラク紛争犠牲者医療救援事業
熊本赤十字病院(医師)